

日本宗教学会
第50回学術大会

期 日 1991年11月22日(金)～24日(日)
会 場 早 稻 田 大 学
東京都新宿区西早稻田1-6-1

お知らせ・お願い

1. 受付で名札をお受け取りください。
2. 受付には学会本部が出張しております。学会費未納の方はお納めください。
3. 研究発表者は、なるべく発表の2番前には、その部会会場へおいでください。
4. 研究発表は1人15分、質問時間は5分となっています。発表時間の厳守をお願いします。
5. 研究発表のレジュメ(1600字程度)を部会責任者にお渡しください。
(11月24日午後4時30分締め切り。以後は一切受け付けませんのでご注意ください。)
6. 荷物は所定のクロークをご利用ください。
7. 昼食は大隈ガーデンハウス(大隈庭園内)をご利用ください。なお大会期間中、研究発表会場2階の喫茶室が営業しております。
8. 喫煙は所定の場所以外ではご遠慮ください。
9. 学内での駐車はできませんので、お車での来学はご遠慮ください。
10. 11月22日～24日の大会期間中、大会本部への電話連絡は次の番号をご使用ください。ただし、プッシュホン電話器からしかかかりませんのでご注意ください。
学会専用 TEL (03)3203-4151-5195(内線)
11. 大会期間中、国際会議場2階展示室で特別展示をいたしておりますので、ぜひお立ち寄り下さい。

受付
会員休憩所
クローク
日本宗教学会本部
学術大会本部

国際会議場1階ロビー
国際会議場地下1階・3階ロビー
国際会議場1階
国際会議場1階来賓室
国際会議場3階市島記念会議室

日 程

11月22日(金)

学会賞選考委員会	(4階第3共同研究室)	12:00~14:00
『宗教研究』編集委員会	(4階第2共同研究室)	16:00~17:00
公開講演会	(井深記念ホール)	14:00~17:00

「光と闇の転換の習俗 — 宗教民俗学の視点より —」 早稲田大学教授 植田重雄

「芸術と宗教 — 詩歌における自覚と表現 —」 作家 栗田勇

理事会	(本部1号館4階第3会議室)	17:30~19:30
-----	----------------	-------------

11月23日(土)

開会式	(井深記念ホール)	9:00~9:20
研究発表	(3階会議室・4階共同研究室)	9:20~12:00
評議員会	(大隈会館書院)	12:00~13:30
研究発表	(3階会議室・4階共同研究室)	13:30~16:30
懇親会	(大隈ガーデンハウス)	17:30~19:30

11月24日(日)

研究発表	(3階会議室・4階共同研究室)	9:00~12:00
『宗教研究』編集委員会	(大隈庭園内完之荘)	12:00~13:30
研究発表	(3階会議室・4階共同研究室)	13:30~16:30
総会・閉会式	(井深記念ホール)	16:40~18:00

※ 各会場については、10頁の案内図をご覧ください。

第 1 部 会 (3F-1a)

11月23日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|----------------------------------|---------------|
| 1. 「とらわれ」と「はからい」——親鸞と森田療法(2)—— | 田原圭介 |
| 2. 臨死体験とデスエデュケーションとの関連について | 佐村隆英 (曹洞宗研究員) |
| 3. 19世紀アメリカの心理学的な救済論——キリスト教科学の場合 | 葛西賢太 (東大) |
| 4. 超常体験と宗教学 | 井上順孝 (国学院大) |
| 5. フロイトの「神話」解釈について | 田口博子 (東大) |
| 6. フロイトにおけるエロースの問題 | 安藤泰至 (米子高専) |
| 7. 元型論から見たコトバの深層 | 河東仁 (東京高専) |
| 8. 宗教的情操についての再考察 | 家塚高志 (西東京科学大) |

11月23日(土) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|----------------------------------|--------------|
| 9. ゲーテの自然観の基本構造について | 大西博文 (関西学院大) |
| 10. 『パルツィファル』の登場人物の宗教性 | 長井英子 (関東学院大) |
| 11. ル・フォールにおける「時」 | 八木博 (山梨大) |
| 12. モーツァルトの音楽における宗教性——「宗教・芸術」論—— | 石井誠士 (京大) |
| 13. 周縁性と脱疎外化——A.シュッツの日常生活世界論を通して | 笹尾典代 (筑波大) |
| 14. ジョルジュ・バタイユの「宗教史」の構想(2) | 檜尾直樹 (早大) |
| 15. 憑依宗教論 | 竹沢尚一郎 (九大) |
| 16. マックス・ヴェーバーの原始仏教論 | 前川輝光 (東大) |
| 17. M. ウェーバーのキリスト教 | 金井新二 (東大) |

11月24日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. 宗教における言葉の問題 | 谷口静浩 (関西学院大) |
| 2. 本居宣長に於ける言葉の問題 | 吉田喜久子 (法大) |
| 3. 祈りの行為 | 棚次正和 (仏教大) |
| 4. 自己実現における言語的表現と修行 | 中村恭子 (川村学園女大) |
| 5. 「たましひ考」 | 松山康國 (関西学院大) |
| 6. 記紀解釈における合理主義 | 磯前順一 (東大) |
| 7. 聖典解釈と本質直観 | 澤井義次 (天理大) |
| 8. 宗教経験における知覚的世界 | 前田毅 (鹿児島大) |
| 9. 相補的宗教多元主義 | 間瀬啓允 (慶大) |

11月24日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|---------------------------------|----------------|
| 10. クリシュナムルティの研究(2) | 西尾秀生 (近大) |
| 11. オーロピンドの身体論 | 小林圓照 (花園大) |
| 12. 「宗教」の定義 | 高橋惣一 (横浜市立桜丘高) |
| 13. 諸宗教の時代の宣教的課題 | 横手征彦 (山梨大) |
| 14. 宗教における「人」の問題 | 加藤智見 (東京工芸大) |
| 15. ヴァン・デル・レーウにおける「精神生活の諸層」について | 木村敏明 (東北大) |
| 16. エリアーデ宗教史の構成 | 奥山倫明 (東大) |
| 17. 日本の宗教学における二つの潮流 | 島田裕己 (日本女大) |
| 18. 早稲田大学における宗教研究の系譜 | 峰島旭雄 (早大) |

第 2 部 会 (3 F-1 b)

11月23日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | | | |
|--------------------------------|-----------|---|----|
| 1. プラトン初期対話篇における「敬虔」の概念について | 和田 義 浩 (早 | | 大) |
| 2. プラトンにおける神と世界の数学的秩序 | 土屋 陸 廣 (早 | | 大) |
| 3. プラトンの靈魂論とエピステーメーの概念について | 岡本 修 (東 | 海 | 大) |
| 4. コルヌトゥスのギリシア神話のストア的解釈について | 兼利 琢 也 (早 | | 大) |
| 5. プロティノスに於ける英知的素材と英知の直知作用について | 森本 聡 (京 | | 大) |
| 6. ソクラテスとトランス | 保坂 幸博 (東 | 海 | 大) |
| 7. スピノザの神の存在証明について | 才野 奈緒 (早 | | 大) |
| 8. カントと終末論 | 笠井 貞 (東 | 洋 | 大) |

11月23日(土) 午後(13:30~16:30)

- | | | | |
|------------------------------------|----------|-------|------|
| 9. 啓蒙的理性の限界と宗教 —「啓蒙の弁証法」におけるカント理解— | 木村 勝彦 (筑 | | 波 大) |
| 10. ヘーゲルにおけるユダヤ教の精神 —フランクフルト期における— | 日暮 雅夫 (早 | | 大) |
| 11. ヘーゲルとピエティスム的宗教(その一) | 中島 秀憲 (九 | 州 産 | 大) |
| 12. ヘーゲルにおける「観察」と「理性」 | 八田 隆司 (明 | | 大) |
| 13. シェリングの自由論 —個体的自由と基礎的人間把握 | 長島 隆 (日 | 本 医 | 大) |
| 14. ニーチェ「生に対する歴史の利害」についての一考察 | 秋富 克哉 (大 | 阪 外 語 | 大) |
| 15. 純粹経験と「無意識」の問題 | 森 哲郎 (京 | 都 産 | 大) |
| 16. 現代詩と否定神学 —リルケの場合— | 阿部 秀男 (北 | 海 道 教 | 大) |
| 17. 西田哲学と浄土教について | 長谷 正當 (京 | | 大) |

11月24日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | | | |
|------------------------------|-----------|-------|----|
| 1. キルケゴールの時間論について | 長谷 修孝 (法 | | 大) |
| 2. キルケゴールとマルクス | 国井 哲義 (大 | 阪 工 | 大) |
| 3. 和辻哲郎における「ゼエレン・キェケゴール」 | 北田 勝已 (大 | 阪 電 通 | 大) |
| 4. シェラーの人格構造論の基礎的問題について | 浅野 博之 (東 | 北 | 大) |
| 5. 存在論的差異とは何か —ハイデガー中期思索の問題点 | 仲原 孝 (京 | | 大) |
| 6. G.アルノルトと西欧神秘思想 | 岡部 雄三 (阪 | | 大) |
| 7. リクルの「宗教哲学」 | 岩田 文昭 (京 | | 大) |
| 8. ホワイトヘッドにおける「神」の概念 | 谷崎 秋彦 (国 | 士 館 | 大) |
| 9. 宗教的寛容の視座(2) —ヒュームにおける「性格」 | 酒井 サヤカ (日 | 本 齒 科 | 大) |

11月24日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | | | |
|-----------------------------------|----------|-------|----------|
| 10. 自伝『言葉』に見るJ.P.サルトルの無神論の形成過程 | 小林 敬 (関 | | 西 学 院 大) |
| 11. メルロ＝ポンティにおける「栄光の身体」について | 本郷 均 (早 | | 大) |
| 12. 他者・身体・コミュニオン —マルセルとメルロ＝ポンティ— | 阿部 文彦 (早 | | 大) |
| 13. 西田哲学における「自覚」と「場所」 | 岡 廣二 (十 | 文 字 学 | 園) |
| 14. ベルクソン哲学における直観・生命・自然 | 安藤 敬崇 (京 | | 大) |
| 15. 個と全体 —ベルクソニズムに関する一考察— | 杉村 靖彦 (京 | | 大) |
| 16. 他者と場所 | 土井 道子 | | |
| 17. ジャン＝リュック・マリオンと隔たりの théo-logie | 北村 晋 (早 | | 大) |
| 18. ソ連における宗教の復興 | 田口 貞夫 (上 | 智 | 大) |

第 3 部 会 (3 F-3 a)

11月23日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|--|---------------------|
| 1. 宗教的象徴と隠喩 — P.ティリッヒを中心として — | 芦 名 定 道 (大 阪 市 大) |
| 2. クザーヌスにおける神への問いの諸位相 | 酒 井 紀 幸 (早 大) |
| 3. クザーヌスの De beryllo における哲学の方法と対象の問題 | 山 下 一 道 (芦 屋 大) |
| 4. エックハルトにおける hoc et hoc と diz und daz の概念 | 松 田 美 佳 (京 大) |
| 5. アベラールにおける宗教間対話についての一考察 | 大 道 敏 子 (北 大) |
| 6. アウグスティヌスのデモノロジー | 三小田 敏 雄 (東 海 大) |
| 7. アンセルムスの修道生活についての書簡 | 矢 内 義 顕 (神 田 外 語 大) |
| 8. CONCATENATIO CONTEXTUM ARGUMENTORUM: アンセルムスの神学方法論 | 古 田 暁 (神 田 外 語 大) |

11月23日(土) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|------------------------------------|-------------------|
| 9. イエズス・キリスト再臨後の世界 | 石 神 武 信 |
| 10. カルヴィニズムのリベルタン糾弾 | 玉 井 実 (東 京 工 芸 大) |
| 11. 敬虔主義の聖書解釈 — ハレとヴェルテンベルクに於ける — | 久保田 浩 (東 大) |
| 12. ルターにおける生と死の理解 | 早乙女 禮 子 (大 阪 体 大) |
| 13. ユーゴ北部におけるフランシスコ・ザヴィエル巡礼地とその現状 | 河 野 眞 (愛 知 大) |
| 14. ヨハネ福音書とエピクテートス(アリアーノス)との文体比較再考 | 佐々木 啓 (弘 前 学 院 大) |
| 15. カトリック史流の一特徴 — 他教派の流れと比べて — | 青 山 玄 (南 山 大) |
| 16. M・C・ペリーの来日と宗教問題 — 仏基の対論(6) — | 芹 川 博 通 (淑 徳 短 大) |
| 17. 明治初期の長崎におけるプロテスタントについて | 坂 井 信 生 (九 大) |

11月24日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|-------------------------------------|---------------------------|
| 1. V.Weigelの創世記解釈をめぐって | 深 澤 英 隆 (東 大) |
| 2. テイヤール・ド・シャルダンの神秘主義 | 岸 英 司 (英 知 大) |
| 3. シモーヌ・ヴェイユにおける死 | 澤 田 愛 子 (北 大 医 療 技 術 短 大) |
| 4. 砂漠の師父アンモナスにおける修道的生の理解 | 竹 田 文 彦 (京 大) |
| 5. 古代メソポタミアの誓いの表現 | 渡 辺 和 子 (東 洋 英 和 女 学 院 大) |
| 6. 預言書表題の託宣性と非託宣性 | 吉 田 泰 (明 学 院 大) |
| 7. 古代イスラエル知恵思想における信仰と懐疑 — コヘレトの場合 — | 加 藤 久 美 子 (東 大) |
| 8. モーセの神体験をめぐるユダヤ教の聖典解釈 | 市 川 裕 (東 大) |
| 9. 旧約聖書『歴代志』における応報思想について | 山 我 哲 雄 (北 星 学 園 大) |

11月24日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|---|---------------------------|
| 10. 新英語訳聖書の翻訳に見られる矛盾構造 — キリスト論その2 — | 木 原 範 恭 (近 畿 大) |
| 11. ティリッヒ『組織神学』(5) — 「理性の深み」について — | 日下部 哲 夫 |
| 12. パウル・ティリッヒの宗教思想 | 島 田 勝 巳 (東 大) |
| 13. ティリッヒ宗教哲学の方法 — "Religionsphilosophie"を中心に — | 宮 崎 真 也 (東 北 大) |
| 14. キリスト信仰と主体的主体 | 名木田 薫 (岡 山 理 大) |
| 15. バルトの關係の比論とティリッヒの相関論について | 大 島 末 男 (広 島 工 大) |
| 16. K.バルトにおけるEx.3,14f. | 掛 川 富 康 (茨 城 キ リ ス ト 教 大) |
| 17. ケリュグマとレトリック — R.ブルトマン再考 — | 土 屋 博 (北 大) |
| 18. 神の絶対性について | 小 川 圭 治 (尚 綱 女 学 院 短 大) |

第 4 部 会 (3 F - 3 b)

11月23日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|---------------------------------|-----------------|
| 1. 「法身」の現代的解釈の試み | 谷 口 富士夫 (名城大) |
| 2. 西周・春秋金文に見る祖先祭祀の機能 | 池 澤 優 (筑波大) |
| 3. 中国古代の地母神 — 『穆天子伝』を中心とした一考察 — | 森 雅 子 (慶大) |
| 4. 梁武帝の仏性理解 | 金 子 芳 夫 (東洋大) |
| 5. 『今古奇観』の宗教的一考察 | 竹 内 肇 (茨城女短大) |
| 6. 唐代の文殊信仰について | 浅 田 公 子 (仏教大) |
| 7. 古代中國に於ける后土神の尊厳性と機能性 | 栗 原 圭 介 (大東文化大) |
| 8. 聖王と仙王 | 楠 山 春 樹 (早大) |

11月23日(土) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------|
| 9. 華嚴經疏鈔の韓国流伝について | 盧 在 性 (大正大) |
| 10. 竺法護の『普曜經』の翻訳における韻律識別のエラーとその原因 | 岡 野 潔 (東北大) |
| 11. 『六祖壇經』の五本、七冊について(六) | 長 嶋 孝 行 (国会図書館) |
| 12. 『頓悟真宗金剛般若修行達彼岸法門要決』について | 伊 吹 敦 (早大) |
| 13. 慧観伝について | 鈴 木 裕 美 (大正大) |
| 14. 道綽『安樂集』における論理と譬喩について | 遠 山 諦 虔 (日大) |
| 15. 善導教学における二重深心の思想的な意味について | ジョアキン・モンティロ (同朋学園佛教文化研) |
| 16. 『現観莊嚴論』法身章をめぐる諸註釈家の分類 | 佐久間 秀 範 (四天王寺国際仏教大) |
| 17. 教判論の諸問題 | 石 橋 真 誠 (京都文教短大) |

11月24日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|------------------------------------|-----------------|
| 1. 仏教の合理性と宗教性に関する一考察 — 特に原始仏教をめぐる一 | 福 田 孝 雄 (駒大) |
| 2. Telakatahagāthāについて | 小 島 敏 広 (愛知学院大) |
| 3. 名称・形態(māyā, śakti)とbuddhi | 村 上 幸 三 (東北大) |
| 4. オーロピンドのヴェーダ観 | 北 川 清 仁 (東方学院) |
| 5. インドの宗教における「16」の概念 | 渡 辺 章 悟 (東洋大) |
| 6. ジャイナ原理、法と非法の成立についての考察 | 大 平 鈴 子 (淑徳短大) |
| 7. ジャイナ教の祖師について — 初期ジャイナの資料から — | 杉 岡 信 行 (東方研究会) |
| 8. アーギーヴィカ教における「苦の滅」 — ジャイナ教資料から — | 渡 辺 研 二 (淑徳短大) |
| 9. アビシクターナング(アンリ・ル・ソー)の意味の追求とインド | 葛 西 實 (ICU) |

11月24日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|---------------------------------------|---------------------|
| 10. 説一切有部の物質観 | 寺 石 悦 章 (筑波大) |
| 11. Jayarāsiによる<識相続説>批判について | 生 井 智 紹 (高野山大) |
| 12. 唯識における転依について | 松 岡 由 香 子 (NCC宗教研) |
| 13. 『サーダナ・マーラー』における智的存在 | 佐久間 留理子 (名大) |
| 14. Āyurvedaの治療論 — pramehaを中心に — | 伊 藤 道 哉 (東北大) |
| 15. 「ダルマキールティーの言語哲学的聖典論」追補二点 | 木 村 俊 彦 (四天王寺国際仏教大) |
| 16. 仏典に受容された「唵om字信仰」の展開 | 齋 藤 彦 松 (梵字資料研) |
| 17. ヘーヴァジュラ系タントラに於けるチャクラ説 — 四輪から六輪へ — | 島 田 茂 樹 (東洋大) |
| 18. 『秘密集会タントラ』成立論再考 | 松 長 有 慶 (高野山大) |

第 5 部 会 (3 F - 2)

11月23日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | | |
|--|------|-----------|
| 1. “Japan and America”誌にみる日露開戦時の日米宗教事情 | 渡部正孝 | (東大新聞研) |
| 2. 都市の葬墓制について | 本林靖久 | (大谷大) |
| 3. 民俗宗教にみる御鞆 — 三河・信濃・遠江国境地域の事例を中心に — | 脊古真哉 | (東海女短大) |
| 4. 沖縄の位牌祭祀 | 平敷令治 | (沖縄国際大) |
| 5. 中国浙江省の葬送儀礼 — 箬山鎮の事例を中心として — | 安達義弘 | (久留米大) |
| 6. 東方典礼様式にみる聖体祭儀の構造について | 尾田泰彦 | (越谷市立北陽中) |
| 7. 兵庫県関宮町葛畑の庚申信仰 | 窪徳忠 | (天理大) |
| 8. メキシコ村落のカトリシズムの社会構造の研究 | 野村暢清 | (久留米大) |

11月23日(土) 午後(13:30~16:30)

- | | | |
|--------------------------------------|----------|----------|
| 9. 新宗教の社会倫理 — 天理教と立正佼成会の社会福祉活動 | ロバート・キサラ | (東大) |
| 10. 南部ポーランドの来訪神信仰 — ライコニック行事を中心に — | 杉井純一 | (ヤギェウオ大) |
| 11. バタック族の祖先崇拜 | 山本春樹 | (天理大) |
| 12. 柱松行事の諸相について(III) | 竹内堅丈 | (愛知学院大) |
| 13. 柱松行事の特質について(II) | 佐藤悦成 | (愛知学院短大) |
| 14. 柱松行事についての一考察 | 成河峰雄 | (愛知学院短大) |
| 15. 霊媒廟から祭司大廟への発展過程考 — フィリピン大千寺の事例から | 佐々木宏幹 | (駒大) |
| 16. 北部九州におけるシャーマンの職能者について | 福島邦夫 | (長崎大) |
| 17. スリランカ、「カタラガマ」の祭り | 高橋涉 | (宮城学院女大) |

11月24日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | | |
|---------------------------|-------|---------|
| 1. 真如苑における霊能の継承 | 永井美紀子 | (東大) |
| 2. 法医学よりみた不浄観 | 恵敏 | (東大) |
| 3. 北海道における新宗教の展開 | 佐藤寿晃 | (愛知学院大) |
| 4. 新宗教における婦人会の役割 | 薄井篤子 | (学振研究員) |
| 5. 日常生活の中の宗教 — 弁天宗の事例を中心に | 鳥井由紀子 | (東海大) |
| 6. 大本教に見られるユートピア思想 | 出口榮二 | (東筑紫短大) |
| 7. 長松清風の病気なおしについて | 小川恵司 | (立正大) |
| 8. 宗教運動としてのニューエイジ | 島藺進 | (東大) |
| 9. 権力とオウム真理教 | 池田昭 | (中京大) |

11月24日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | | |
|----------------------------------|-------|------------|
| 10. 現代チベットの寺院教育について | 則武英敏 | (立正大) |
| 11. 円珍撰『大日経指帰』について(再説) | 苦米地誠一 | (大正大総合仏教研) |
| 12. 興教大師と伝法大会 — 真然大徳との係りについて — | 武内孝善 | (高野山大) |
| 13. 慈円撰『四帖秘決』について | 三崎良周 | (早大) |
| 14. 「死」についての宗教的考察 — 『成唯識論』をもとに — | 竹内真道 | (浄土宗総合研) |
| 15. 仏教儀礼と四分律およびパーリ律について | 寺崎敬道 | (新潟中央短大) |
| 16. 『方便心論』において見受けられるヨーガ学説 | 原田高明 | (大谷大) |
| 17. 瑜伽論の菩薩思想について | 清水海隆 | (立正短大) |
| 18. 瑜伽論写本について | 松濤泰雄 | (大正大) |

第 6 部 会 (4 F-1)

11月23日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| 1. 小品系般若経に説かれる菩薩 | 勝 崎 裕 彦 (大 正 大) |
| 2. 生命倫理と仏教 — 尊厳について — | 佐 藤 雅 彦 (大正大総合仏教研) |
| 3. 近世における看取りについて | 長谷雄 文 彰 (大正大総合仏教研) |
| 4. 『正法眼蔵』の批判の表現をめぐって | 務 台 孝 尚 (曹 洞 宗 宗 学 研) |
| 5. 『正法眼蔵』における同参について | 粟 谷 良 道 (曹 洞 宗 宗 学 研) |
| 6. 道元禪師と諷経の儀軌 | 熊 本 英 人 (曹 洞 宗 宗 学 研) |
| 7. 『正法義』と曹洞宗 | 深 瀬 俊 路 (曹 洞 宗 教 化 研) |
| 8. 法華経「方便品」に於けるnirukti | 真 野 龍 海 (大 正 大) |

11月23日(土) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|-------------------------------------|-------------------------|
| 9. 鎌倉期往生伝に関する一考察 — 親鸞の不来迎義に関連して | 陳 敏 齡 (筑 波 大) |
| 10. 『歎異抄』第二条の位相につきて | 徳 永 大 信 (九 州 龍 谷 短 大) |
| 11. 真宗教団論 | 木 越 康 (大 谷 大) |
| 12. 真宗とエキュメニズム | 高 田 信 良 (龍 大) |
| 13. 近代真宗教学の意義 | 藤 原 正 寿 (大 谷 大) |
| 14. 鈴木大拙博士論 — 「真」について — | 和 田 真 二 (大 谷 大) |
| 15. 真宗における真俗二諦論と世俗化 | 嵩 満 也 (龍 大) |
| 16. 真宗における「浄土」の意味 — 現実の人間の生き方を求めて — | 西 崎 京 子 (岡 山 女 短 大) |
| 17. 蓮如における無常について | 田 辺 正 英 (富 山 医 科 薬 科 大) |

11月24日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|--------------------------------|---------------------------|
| 1. 寇謙之の儒教観 | 春 本 秀 雄 (大正大総合仏教研) |
| 2. 自灯明と法灯明について | 吉 津 宜 英 (駒 大) |
| 3. 日蓮聖人における食の体系の課題 | 目 黒 き よ (立 正 大 日 蓮 教 学 研) |
| 4. 日蓮の信仰における謗法罪の意義と位置 | 間 宮 啓 壬 (東 北 大) |
| 5. 近代日蓮宗の教育活動について — 新居日薩を中心に — | 安 中 尚 史 (立 正 大) |
| 6. 日蓮『注法華経』の注記について | 関 戸 堯 海 (立 正 大) |
| 7. 日蓮の宗教における「同時性」と「罪」の問題 | 原 慎 定 (立 正 大) |
| 8. 日蓮聖人真蹟の伝来の問題点について | 寺 尾 英 智 (立 正 大) |
| 9. 日蓮における「真実」の追求と法華経解釈 | 渡 辺 宝 陽 (立 正 大) |

11月24日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|-----------------------------------|---------------------------|
| 10. 南都浄土教と諸行本願義について | 坂 上 雅 翁 (淑 徳 短 大) |
| 11. 靈芝元照の浄土教と天台浄土教 | 柏 倉 明 裕 (大 谷 大) |
| 12. 西山教義における往生思想の一考察 | 五十嵐 隆 幸 (龍 大) |
| 13. 浄土教普及の前提としての農民の悪人観受容の一契機 | 亀 山 純 生 (東 京 農 工 大) |
| 14. 浄土教徒の社会的実践(V) — 批判原理としての浄土(統) | 菱 木 政 晴 (西 山 短 大) |
| 15. 歎異抄における救済の問題 | 西 田 真 因 (真 宗 大 谷 派 教 学 研) |
| 16. 親鸞における願船の理解について | 新 保 哲 (姫 路 独 協 大) |
| 17. 『愚迷発心集』について — 貞慶の信仰起請文説 — | 城 福 雅 伸 (龍 大) |
| 18. 老荘の無為自然と親鸞の自然法爾 | 徳 永 道 雄 (京 都 女 大) |

第 7 部 会 (4 F - 6)

11月23日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|--|----------------|
| 1. イスラム倫理思想の枠組 | 塩尻和子(日大) |
| 2. イスラム・アフマディー派の教義 | 磯崎定基(大東文化大) |
| 3. イスラム資料よりみたインド仏教の衰亡 — 西インドを中心に — | 保坂俊司(東方研究会) |
| 4. ゴロアスター教徒パーシーの家族の構造と聖なる火 | 中別府温和(西南女学院短大) |
| 5. ハロルド・ブルームとモルモン教 — 教典産出仮説の検証 — | 高山真知子(江戸川大) |
| 6. Rama Krishna Mission と Sri Aurobindo Ashram | 堀内みどり(天理大) |
| 7. 道統の意識と宗教制度の変化 — 伊那・岡山の禊教 — | 荻原稔(府中朝日養護学校) |
| 8. ミラレパとボン教 | 佐藤祖哲(岩手大) |

11月23日(土) 午後(13:30~16:10)

- | | |
|--------------------------------------|--------------|
| 9. 上代の維摩講 | 芦名裕子(聖泉短大) |
| 10. 平安時代における自然とその領有 | 藤原正己(堺女短大) |
| 11. 近代化と伝統的世界観 — 円通の須弥山説擁護論をめぐる — | 岡田正彦(大正大) |
| 12. 江戸幕府成立期の寺社行政について — 円光寺元倍を中心として — | 前田一郎(大谷大) |
| 13. 近世の随筆に見られる流行神 | 鈴木岩弓(島根大) |
| 14. 日本仏教における母性信仰 | 中野優子(曹洞宗宗学研) |
| 15. 僧院内の仏像及び仏塔崇拜 | 杉本卓洲(金沢大) |
| 16. 胎蔵図像の象徴する世界 | 八田幸雄(関西学院大) |

11月24日(日) 午前(9:00~12:00)

- | | |
|--------------------------------|---------------|
| 1. 古代における神祇と仏教 | 三橋正(大正大総合仏教研) |
| 2. 勝利祈願と稻荷信仰 | 大森恵子(明德商高) |
| 3. 大江匡房と稻荷信仰 | 吉原浩人(早大) |
| 4. 山王一実神道小考 | 菅原信海(早大) |
| 5. 日本製偽経の一考察 | 服部法照 |
| 6. 桓武天皇(延暦24年2月条)の「令鎮御魂」について | 渡辺勝義(九大) |
| 7. 栄華物語における怨霊観の一側面(左大臣藤原顕光の場合) | 丸茂湛祥(立正大) |
| 8. 金剛峯寺年中行事 — 特に蓮花会について — | 日野西真定(高野山大) |
| 9. 呪符木簡にみる日本の道教 | 椿實 |

11月24日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|--------------------------|-------------|
| 10. 日本靈異記にみられる朝鮮半島観 | 福士慈稔(東方研究会) |
| 11. 韓国における葬墓制について | 金永晃(大正大) |
| 12. 『本朝神社考』の典拠について | 森瑞枝(国学院大) |
| 13. 近世初頭の白川伯王家 | 小松馨(国学院大) |
| 14. 戦後の氏神神社の氏子数の変化について | 石井研士(国学院大) |
| 15. 吉田神道と大内義隆 | 伊藤聡(早大) |
| 16. 近世神道思想研究 — 吉田神道と神道講釈 | 田辺建治郎(国学院大) |
| 17. 吉田神道における仏教的要素について | 出村龍日 |
| 18. 真言内証義について | 白山芳太郎(皇学館大) |

第 8 部 会 (4 F - 7)

11月23日(土) 午前(9:20~12:00)

- | | |
|--------------------------------------|-----------------|
| 1. ミッション・スクールの宗教社会学の基本的問題 | 北川直利 (聖霊女短大付属高) |
| 2. 宗教意識と宗教教育の結節点 — 宗教系高校の意識調査による検討 — | 井腰圭介 (西東京科学大) |
| 3. 首都寺院経済の現状と課題 — 檀家へのアンケートより — | 高橋正己 (吉備国際大) |
| 4. 寺院経営学序説 | 荒川元暉 (正眼短大) |
| 5. 宗教と福祉 — 仏教における福祉思想 — | 渡辺寛勝 (身延山短大) |
| 6. 日露戦後の宗教政策と民衆宗教 — 「三教会同」をめぐる — | 李元範 (一橋大) |
| 7. 南インドの寺院政策 | 田中雅一 (京大) |
| 8. 東アジア世界における日本近世の「世俗化」 | 林 淳 (愛知学院大) |

11月23日(土) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|---------------------------------------|------------------|
| 9. 生活改善運動と人生儀礼 | 弓山達也 (国学院大日本文化研) |
| 10. 永遠なる福音と自由恋愛(2) — ランターズ運動の女預言者たち — | 木田理文 (文化伝承研センター) |
| 11. 情報化社会が生んだ宗教ネットワークの現状と今後 | 水谷浩志 (浄土宗総合研) |
| 12. 寺院教化活動にみる宗門檀信徒の帰属意識 | 勝田哲山 (曹洞宗教化研) |
| 13. 韓国の巫堂と教主 | 丹羽 泉 (ICU社会科学研) |
| 14. 現代トルコにおける政教関係(政教分離のイスラム)の展開 | 佐島 隆 (東 北 大) |
| 15. 社会主義体制下における国家と宗教 — ルーマニアの場合 — | 新免光比呂 (東 大) |
| 16. 地域変化と宗教的意識の変容 | 村上興匡 (学振研究員) |
| 17. リアリティの変動 — アメリカ宗教の分極と統合 | 井門富二夫 (桜美林大) |

11月24日(日) 午前(9:00~12:00)

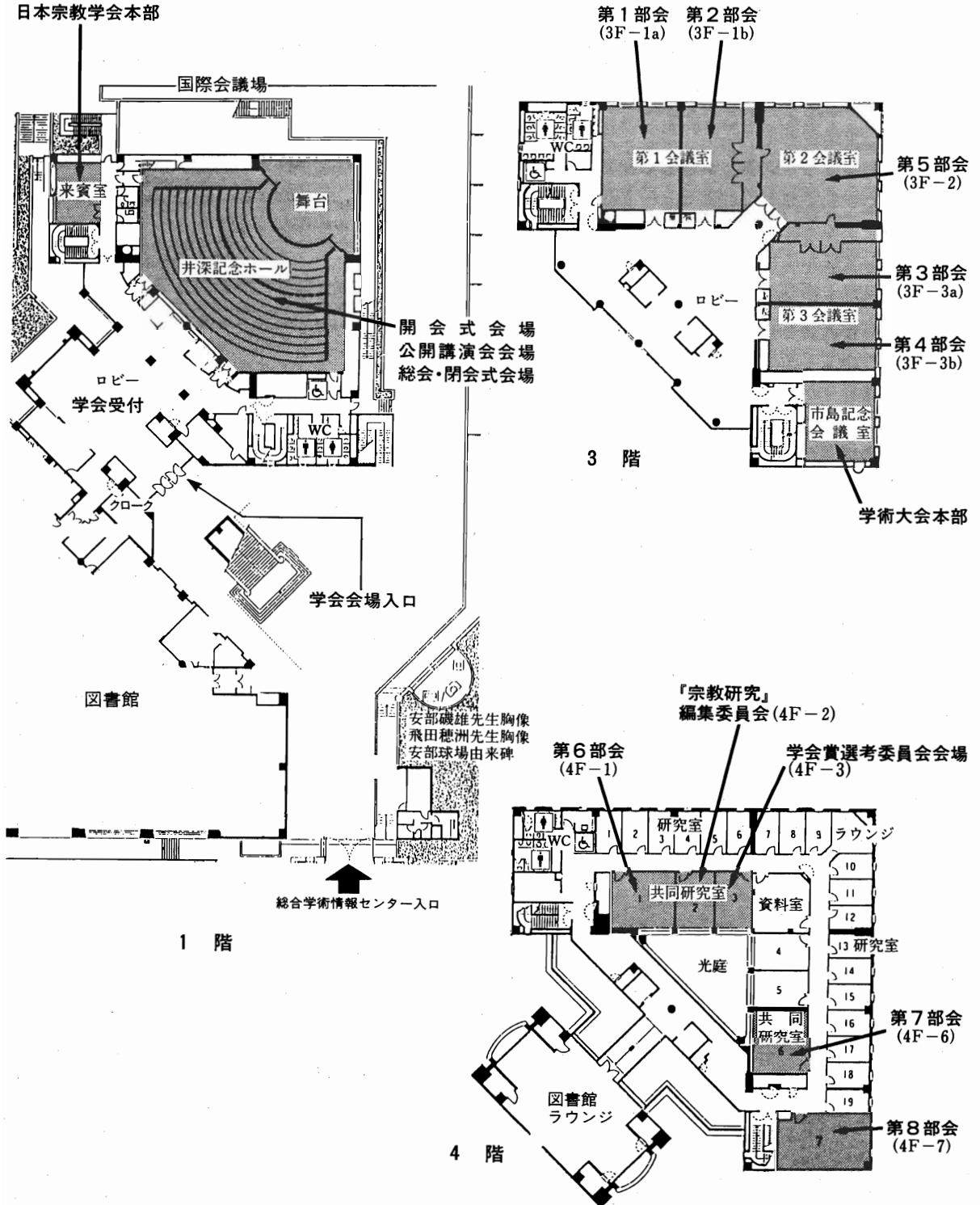
- | | |
|--------------------------------|------------------|
| 1. 奈良十津川玉置山の勧進について | 菊池 武 (砺波市立散村地域研) |
| 2. 祭の変化と祭の意味付け — その関係についての事例報告 | 島田 潔 (国学院大日本文化研) |
| 3. 五島奈留島道脇増太郎オラショ本の研究 | 宮崎賢太郎 (長崎純心女短大) |
| 4. 「日本的心性」についての一試論 | 大西 昇 (東京工芸大) |
| 5. 折口信夫の宗教論の特質について | 上石由紀子 |
| 6. 沖縄のシャマニズムとペンテコスタリズム | 池上良正 (筑波大) |
| 7. <人を神に祀る風習> — 柳田と折口の場合 — | 中村生雄 (静岡県立大) |
| 8. 比較民俗 — 民衆宗教論の課題 | 岩井 洋 (国学院大日本文化研) |
| 9. 追善供養の絵とき | 宮家 準 (慶 大) |

11月24日(日) 午後(13:30~16:30)

- | | |
|------------------------------|-------------------|
| 10. 丹生都比売神社の祭祀について | 門屋 温 (早 大) |
| 11. 新潟県における「とりこ」信仰の実態 | 中野東禅 (駒 大) |
| 12. 熊野における儀礼の変容 | 石倉孝祐 (東京都北区教育委員会) |
| 13. 鎌倉時代の補陀落渡海 — 特に実勝坊について — | 根井 浄 (神戸常盤短大) |
| 14. 御嶽信仰における組織形成について | 木村登次 (愛知学院大) |
| 15. 現代における修験道講集団の研究 | 三木 英 (英 知 大) |
| 16. 修験道に於る『山』の字義 | 中山清田 (東洋大東洋学研) |
| 17. 石動修験道の近世縁起 | 由谷裕哉 (小松短大) |
| 18. 出羽三山奥之院湯殿山をめぐる問題 | 月光善弘 (山形女短大) |

研究発表会場

国際会議場



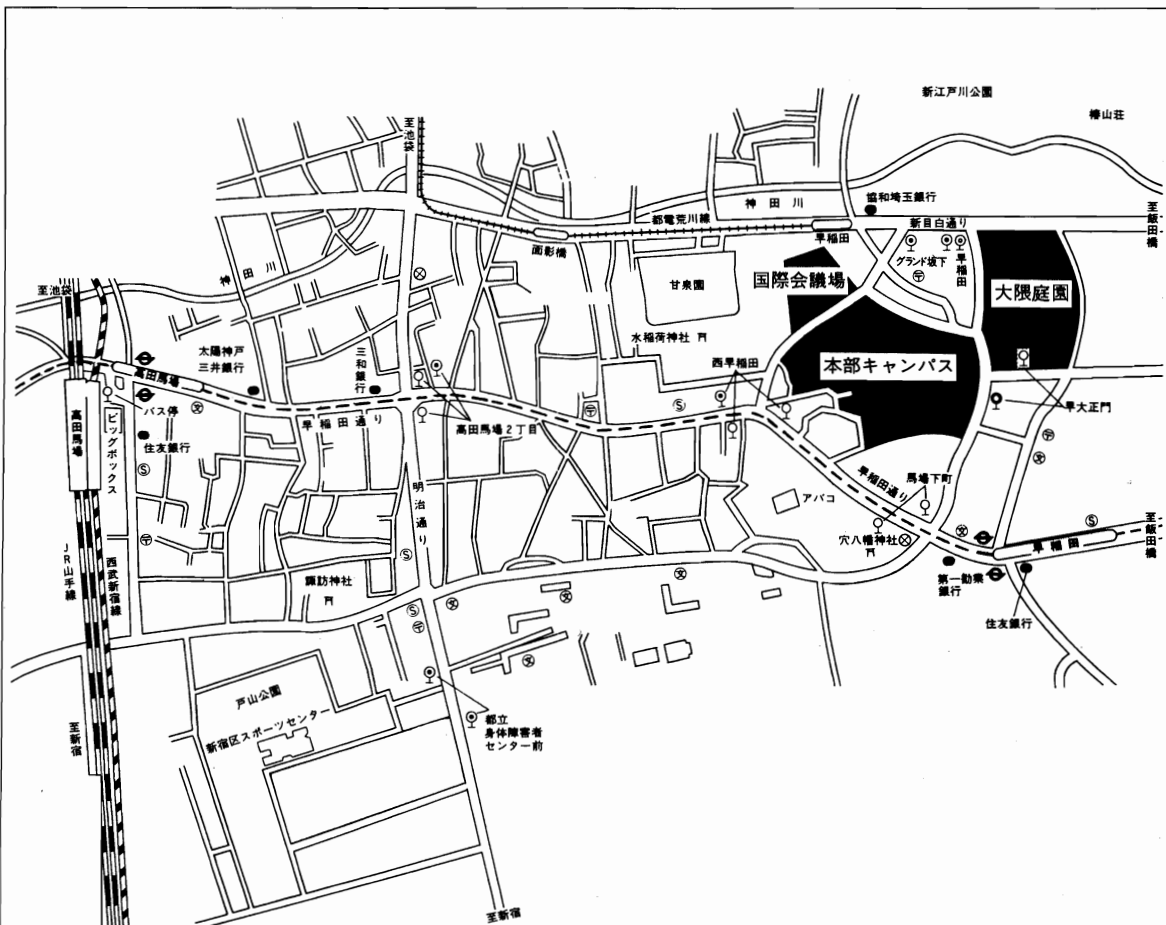
学内建物配置図



早稲田大学への案内図

東京都新宿区西早稲田1-6-1

電話 (03)3203-4151-5195(内線)学会専用



主な交通機関

(交通機関)	(最寄駅からの徒歩所要時間)
JR山手線	高田馬場 (約20分)
西武新宿線	高田馬場 (約20分)
地下鉄東西線	早稲田 (約5分)
バス 学02	高田馬場駅-早大正門 (約1分)
バス 早77	新宿駅西口-早稲田 (約3分)
バス 早81	渋谷駅-早大正門 (約1分)
バス 上58	上野広小路-早稲田 (約3分)
都電	三ノ輪橋-早稲田 (約5分)

